

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)

【公開番号】特開 2003-105139 (P2003-105139A)

【公開日】平成 15 年 4 月 9 日 (2003.4.9)

【出願番号】特願 2001-341747 (P2001-341747)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 L 21/00

F 1 6 G 1/06

// (C 0 8 L 21/00

C 0 8 L 9:00)

【 F I 】

C 0 8 L 21/00

F 1 6 G 1/06

C 0 8 L 21/00

C 0 8 L 9:00

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 3 月 3 日 (2004.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

加硫可能なゴム 100 重量部に対して、

(a) 還元粘度が 0 . 1 ~ 4 のシンジオタクチック - 1 , 2 - ポリブタジエン (S P B) が 1 ~ 30 重量部と、

(b) 無機補強剤が 30 ~ 70 重量部

を配合してなることを特徴とするベルト用ゴム組成物。

【請求項 2】

該加硫可能なゴムが、天然ゴムであることを特徴とする請求項 1 に記載のベルト用ゴム組成物。

【請求項 3】

該 S P B の配合量が 3 ~ 25 重量部であることを特徴とする請求項 1 ~ 2 に記載のベルト用ゴム組成物。

【請求項 4】

該無機補強剤の配合量が 35 ~ 65 重量部であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 に記載のベルト用ゴム組成物。

【請求項 5】

(a) の S P B の ^{13}C - N M R による 1 , 2 結合含量が 70 % 以上で且つ 1 . 2 結合中のシンジオタクシティーが 90 % 以上あることを特徴とする請求項 1 ~ 4 に記載のベルト用ゴム組成物。

【請求項 6】

(a) の S P B の融点が 110 ~ 160 であることを特徴とする請求項 1 ~ 5 に記載のベルト用ゴム組成物。

【請求項 7】

(b) の無機補強剤がカーボンブラックであることを特徴とする請求項 1 ~ 6 に記載のベ

ルト用ゴム組成物。

【請求項 8】

J I S K 6 2 5 1 の引張試験で測定した 1 0 0 % モジュラスが 4 ~ 6 M P a である請求項 1 ~ 7 に記載のベルト用ゴム組成物。